

## ヒルフェ通信(7月号)

❀ そっと寄り添いやさしくサポート ❀

「公益社団法人成年後見支援センターヒルフェ」は高齢者、精神障がい者、知的障がい者等の権利の擁護及び福祉の増進に寄与することを目的として、東京都行政書士会が設立した法人です。



### ◆令和3年度定時総会開催

令和3年6月23日(水)、行政書士会館地下講堂におきまして、定時総会が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会員の皆様には書面での議決権行使のお願いとなりました。

総会時のヒルフェ会員数253名のところ、議決権行使書提出者160名であり、定足数を満たし定時総会は成立致しました。

総会では、下記議案につき、会員の皆様にご審議及び議決権行使書を提出して頂きました。なお、各議案についての質疑応答についても、書面にて提出して頂き、本法人のホームページにて回答とともに掲載を致しました。

第1号議案 令和2年度事業報告の承認について

第2号議案 令和2年度決算報告及び監査報告の承認について

第3号議案 令和3年度事業計画(案)の承認について

第4号議案 令和3年度予算(案)の承認について

第5号議案 役員の選任の承認について

各議案は、すべて賛成多数により承認可決されました。また、総会後の理事会において、下記のとおり決定致しました。(順不同敬称略)

理事長 山崎 節子 副理事長 雨谷幹彦 副理事長 釘田一富

副理事長 西村公一 専務理事 東村次郎

### ◆町田市「2021年度成年後見制度講演会」レポート

令和3年6月12日(土)、町田市「2021年度成年後見制度講演会」が、町田市民フォーラム3階ホールで開催されました。毎年、町田市社会福祉協議会「福祉サポートまちだ」が開催しているものです(町田市からの委託事業)。第一部は、映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」上映会、続く第二部の講演会「認知症と成年後見制度 自分の意思ののこしかた」で、ヒルフェ町田地区会員の寺田が講師を務めました。

信友直子監督・撮影・語りによるこの作品は、「認知症の母と耳の遠い父と離れて暮らす私」の「泣きながら撮った1200日の記録」。

長年、両親の映像を撮り続けるなかで、あるとき、母の変化に気づき、認知症の診断を受け、認知症が進行していく現実を映す。家族は、老々介護、遠距離介護、介護離職の問題に直面する。敬愛する母の変化、受け止め支える父をカメラで撮り続け、一步引いた視点で多くのことに気づく。自家用に撮影されていた家族映像が映画化された作品。

観た方が、さまざまな角度から多くのメッセージを感じることができる映画です。成年後見に関する業務に携わる者としては、ご本人の本来のお人柄や考えを大切にしていくことの重みを再確認しました。映画のなかのご両親の人生に敬意を表しますとともに、強い信念と熱意をもって、映像を世に送り出してくださった監督に感謝いたします。

第二部の講演会は、映画の余韻のなか、認知症などになった方の人生の続きを支える「成年後見制度」の説明、本人や成年後見人等を支えるであろう「みちしるべ」(ヒルフェ作成の、思いを伝えるノート)の紹介をしました。

今回は、町田での実施でしたが、今後は、上映会、セミナー(成年後見制度と「みちしるべ」)、相談会という形で、ヒルフェ各地区と本部が連携し、企画・開催できたら良いと思います。成年後見制度利用促進法による基本計画のもと、本人の意思決定支援が重視されたこともあり、「みちしるべ」の重要性をこれまで以上に伝えていきたいと考えています。

これからは、地域連携ネットワークの協議会に関わりながら、地域における成年後見制度を支える一員としての役割を果たし、成年後見人等としては、「みちしるべ」を活用し、意思決定支援を重視した後見業務に取り組んでいきたいと考え、今回のご報告とご提案をさせていただきます。(町田地区サブリーダー 寺田康子)